

事務担当
三重県農林水産部
家畜防疫対策課 浅井
畜産研究所 中川
電話：059-224-2544

県内における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

1 農場の概要

所在地：津市

飼養状況：採卵鶏 約2万5,000羽

2 経緯

- (1) 昨日（1月12日（月曜日））、三重県中央家畜保健衛生所（以下、「中央家保」という。）は、津市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。
- (2) 同日、中央家保が、当該農場の家きんについて、鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、陽性であることが判明しました。
- (3) 本日（1月13日（火曜日））、中央家保が当該農場の家きんについて、遺伝子検査を実施した結果、10羽中7羽が陽性となり、同日9時に農林水産省によりH5亜型の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（※）と確定されました。

※家畜伝染病予防法に基づき、発生予防とまん延防止のために特別な防疫措置の対象となる家畜のこと。

3 報道機関へのお願い

- (1) 現場での取材は、移動車両のタイヤ、取材者の靴裏や衣類などにウイルスが付着することで本病のまん延を引き起こすおそれがあること、生産者の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むようご協力を願いいたします。また、ヘリコプターやドローンを使用しての取材についても、防疫作業の妨げとなるため、自粛いただきますようお願いいたします。
- (2) 発生農場名や住所等については、生産者等の関係者が混乱するがないよう、非公表で対応願います。
- (3) 本日（1月13日（火曜日））9時開始の防疫措置にかかる農場内の画像（写真・動画）については、本日（1月13日（火曜日））11時に開催する「三重県高病原性鳥インフルエンザ対策本部第2回本庁対策本部員会議」の終了後、県から提供いたします。